



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-5550-7024

担当者の所属・氏名 西山 智哉

(代理) 栗原 泰之

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 放射線科 西山 智哉

# 画像ガイド下縦隔ドレナージを受けた方を対象とした

## 安全性と有効性に関する研究

### 1.研究の対象

2018年1月～2020年3月に放射線科で画像ガイド下縦隔（心臓周囲）ドレナージ（チューブなどを用いて貯留した液体を吸引すること）を受けた縦隔膿瘍の患者さん

### 2.研究の目的・方法

生命の危機的状況である縦隔膿瘍に対するドレナージ（チューブなどを用いて貯留した液体を吸引すること）は、従来は身体に負担の強くかかる全身麻酔下手術が行われてきました。近年、手術と比較して身体への負担の軽い、局所麻酔下画像ガイド下ドレナージが様々な臓器・部位に対して行われるようになっていきました。しかし、縦隔領域への画像ガイド下ドレナージについてのまとまった報告はありません。

本研究は、当院放射線科で画像ガイド縦隔ドレナージを受けた患者さんを対象に、その安全性と有効性について検討することを目的にしています。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

### 3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・カルテ番号、年齢、性別、縦隔液体貯留の原因（病名・術式）、ドレナージ前後のCT所見、ドレナージ中画像所見、ドレナージ量、チューブ留置期間、培養結果、血液検査（白血球数、CRPなど）、体温、抗生物質の種類と投与歴等